

第5章
子ども・子育て支援に関する
意見・要望等

第5章 子ども・子育て支援に関する意見・要望等

1. 子育てサポートに関する意見・要望等

「就学前児童」では、407 件の意見・要望等が寄せられています。
 「就学児童」では、218 件の意見・要望等が寄せられています。

(1) 問 1 1 「就学前児童」の子育てサポートに関する意見・要望等

主な意見・要望等の内容（抜粋）	
1	「きちんとした理由がなければ、子供を預けるのはかわいそう」「まだ小さいのに職場に復帰するのはかわいそう」という雰囲気は非常に息苦しい。気軽に子供を預けられる環境、利用料などができるとうれしい。
2	保育園で急病やケガ等で迎えが必要な際に代理でお迎えをしてくれる様なサービス又はサポートがあると助かる。
3	保育園に入る前の子どもが遊べる施設や行事の情報、保育園入所までの手続きや見学等の情報が欲しい。子供を預ける施設（一時的に何時間か）がもっとほしい。
4	生後すぐに保健士さんの訪問などもありましたが、それが終わると放置されている気がする。転勤でこの地に来たので知り合い等がおらず、断乳や息子の体重がなかなか増えなかった時は心細かった。遠方の姉や母に電話して相談出来ましたが、せめて生後 1 年くらいは定期的な働きかけがあると嬉しい。
5	一時預かりをしている保育園もあるが、いざという時に連絡すると定員がいっぱいなので無理ですと、3,4 件断られたことがある。祖父母もまだまだ仕事をされていて、共働きなので、熱が出た時、年末など仕事を休むことが出来なくて、とても困った。気軽に一時預かりできる施設があるととても助かる。
6	行政で現状も行っている定期検診があるおかげで、成長等について相談することが出来ているので助かっている。毎年あればもっと助かる。身近な人が近隣に住んでいることで日常的に助けてもらえるので助かっている（病気の看病や学校休業日に預かって貰ったり、残業した時等の送り迎え等。）。
7	小さい子は熱を繰り返す。その度に仕事を休んだり早退する。皆いい気はしないし、代われない仕事だったりシフトの交換も気軽に出来ない会社だと休めない。パートにしてもそんな人を雇わない。なので、熱が続いたりする時にでも短時間みてくれる所が色々なあれば助かる。同じ保育園内でも有料でもいいから別室で預かってもらえれば助かる。
8	相談したいと思ってもなかなか行政に問い合わせる勇気がない。知人がいない等で一人で抱え込んでいる方も多いと思う。なので、弘前市の子供のいる家庭に行政の方から保護者に連絡（何ヵ月に 1 度など）してみる方法をとって頂けると安心する保護者もいらっしゃるのではないかと思います。虐待等の防止にもつながるのではないかと。
9	もっと気軽に行ける遊び場がたくさんあれば情報交換できたり気分転換になると思う。子供連れでも安心していける場所（授乳室、おむつ交換台、トイレ、大声出して泣いても気にならない場所や建物、赤ちゃんでも安心して遊べる遊具、子供向けのアニメなどのDVD上映等）があれば家で一人で悩むことも少なくなると思う。 相談するにしても遊びに行くにしても、堅苦しい場所は行きにくいと思う。
10	直接子供に還元できるようなチケット等が発券されればとても助かる （例：学習塾の割引チケット、お米券、スキー用品の割引チケットなど子育てをする上で中～長期的にかかる費用のサポート）。

(2) 問11 「就学児童」の子育てサポートに関する意見・要望等

主な意見・要望等の内容（抜粋）	
1	登下校時、通学路に見守りの方とかいらっしやると助かる。（そういう週間はありますが、通年あると）
2	学校で親がむかえに行ける時間まで（～17:00 など）宿題をさせてもらえる場所の提供。学校には放課後残る事はできないらしいので。
3	児童館が学校から離れていた為、学校内で児童会があればいいなと思っていた。病後保育の充実も望む。
4	青森市よりH29.4月に転居（永住）してきました。青森市では子供の医療費が無料で大変助かったが、弘前市は所得制限がひくく、カードももらえなかった。二人とも皮膚が弱く、下の子は特別弱く、月に1～2回通院、そしてぜん息。夜中救急に走った日もあります。H30.2月には自分が国の指定難病になり、10月は夫も入院。H30年の医療費は26万をこえている。子供の医療費タダとタダでない人がいるのは不公平だ。弘前は子供の医療費でないから弘前には住みたくないって人が沢山いる。沢山の可能性をもっている子供を大切にしてほしい。このままだと市外に出る若い家族がふえてしまう。
5	台風などで学校が休みになった時のサポートとして、どこか弘前市内で1ヶ所に子どもが集まれる場が欲しい。（危険は承知の上で）自宅で留守をさせるのは心配だ。（低学年の場合）（インフルエンザで休みの時は自宅待機でいいと思う）
6	特にない。ただ、どの職場においても休みやすい職場であってほしい。〈8ページ問13のことです。〉働き方改革のことになるので、ここで書くことではないかもしれませんが、本当はよくないが、早朝の熱の時、仕事も休めなくて、やむをえず坐薬をして、子ども一人家において仕事しにいったこともあった。
7	スキーや制服等、学校で必要な物を購入する時、補助金があると助かる。
8	仕事の都合で宿題を毎日きちんと見てあげることが出来ない。子どもが分からない所を身近に教えてあげられるようなサポートがあれば助かる。部活動に参加していて、できる範囲で送迎等行っているが、父母共に送迎できない時があり天気が良くない時、自宅から学校までの距離が遠く、又不審者情報等もあるので心配。チーム内の親通しで、送迎サポートしているが、迷惑ではないかと思う時がある。
9	雨天時や雪の日に屋内で遊べ、親が少しでも安らげる場所があればと思う。他の人との交流や、心が安らげる場所があるとシングルマザーでも少しでも気を紛らわせられると思う。私自身がシングルマザーなので働けない病気になってしまった時に金銭面がどうしても苦しくなってしまうので、その補助があればうれしい。
10	基本、両親以外で子供の面倒を見てもらえる人はいないので、自分が病気になったりした時に代わりに子どもの事や家の事をサポートしてもらいたい。できれば利用料があまりかからない公的機関が望ましいと思う。困り事があった時、どこの機関へ相談に行けば、どのようなサービスが得られるのか明確にしてほしい。子育て支援のサポートブックを子どものいる全世帯に配るべき。

2. 子育て環境や支援に関する意見・要望等

「就学前児童」では、588 件の意見・要望等が寄せられています。
 「就学児童」では、415 件の意見・要望等が寄せられています。

(1) 問32 「就学前児童」の子育て環境や支援に関する意見・要望等

主な意見・要望等の内容（抜粋）	
1	弘前市には病児保育があるため働こうと思った。冬になると病児保育がいっぱいになってしまうため、祖父母が遠いところに住んでいて、全く頼ることができない私は少し大変です。ぜひ、病児保育の充実をお願いしたい。
2	子育ては（特に子供が小さいうちは）思った以上にとても大変だと実感している。働きたい（働かざるを得ない）保護者の方には手厚い支援を。逆に働かずに子育てに専念したい保護者もいる事を理解してほしいと思います。全てを学校や行政に任せて、家庭という親子で向き合う時間が減っているような気がしている。国の方針だけでなく、親の目線だけでなく、子どもの目線による温かな支援が欲しいと思います。弘前の支援は充実していると思う。
3	地域における子育て環境については満足しているが、それらを利用できるかできないかは職場の環境も少なからず影響していると思う。あとは自分で情報を得て動かなければ事業を利用できないのはわかっているが、不明なことが多すぎると行動に移るまでに大きな勇気のいる一歩になると思う。一度利用してしまえばその後はスムーズだが、最初の一步を踏み出しやすくするような働きかけをしていただければもっと子育てに悩んで一人で抱えるような人が減るなあと考えた。制度を利用しやすくする企業への働きかけも望む。
4	多くの子育て情報を広報やHPなどで発信しているため有難いと思った。保育園などの預け先に関する相談窓口をもう少しひらかれた雰囲気にするのと相談しやすくなるのではないかと思った（手続のみの場所になっているような気がする）。現在利用している認定こども園はとても一生懸命に子供の成長のために考えてくれていて助かっている。
5	弘前市内でも、育休明けでも希望する保育園等の空きがないという話を聞く。安心して復帰できる仕組みであってほしい。今お世話になっているこども園は、何でも相談できる環境であると思う。とても安心できる。また、地域（住んでいる学区単位等）での子供のイベント、行事などがあればもっといいと思う（ヒロコ等の開催もいいと思いますがもっと狭い単位で）。私の地域では夏祭りの他入学する小学校での活動（イベント等）があるので、今から参加できる。地域の方とも顔を合わせる機会、子供同士、親同士の交流の機会になっている。
6	一時保育や病児保育を利用したいと思うが、“いつもの先生、いつもの場所”ではない事で、子どもの負担（親も心配）になると思う。保育士さんの方の苦労や勤務状況に関して普段から感謝して安心して預けている。いつも通っている保育園で見てもらえる制度があったらいいなと感じている。また、祖父母も病気を抱えており、まだ小さな子供達を預けなければならない時、不安で落ち着かない。祖父母を体力、気力、限界に近い状態で親の帰りを待っている。毎回とは言わないが、日祝もみてくれるサービスが欲しい。
7	自閉症児を育てるにあたり、常にネット等で調べ、自分で勉強しなければならず、地域のサービスや園の対応も自分から動いて改善してきた。健常児以外の子供に対してのサービスや情報の発信がとても遅いまたは無い状態で、周囲の人々、園の先生方の対応も酷い時もあった。間違ったネット情報や知識を持っている人も多く、障がいが見えない障がい者を育てる私達から伝えていくだけでなく、TV、CM、新聞、広報、その他講演会、勉強会を通じてもっと福祉の輪や情報をいろいろな人に伝えていく必要があると思う。

8	<p>子どもが通園するまでは少し自宅から離れた所でも子育て支援センターなどに通って、先生や同じく子どもを育てるママ達とたくさん話をして、とても助けられた。私はそういう場所に行ける事ができたが、行けずに家の中で苦しい思いをしている母はたくさんいるのではないかと思う。私は車を使えたので良かったが、歩いて行けるもっと近場にこういう場所があればよかったと思う。保育所、老人福祉施設、公民館など空いている場所を利用し、小規模でも集まれる場、子供が遊べる場、親が話せる場をもっと増やせばよいと思う。また子どもが遊べる場、室内、室外の公園が少ないので、特に冬場は家に引きこもりがちになるため、もっといろんな人と交流できるような開けた場所があればと思う。ヒロコ3階などの場所が増えて欲しい。</p>
9	<p>子育てには育児ストレスとか仕事だけの理由で子育て支援を利用するのではなく、もっと罪悪感なく利用出来たら嬉しい。兄弟が多い家庭においては（私には子供が5人います）1対1で親子向き合う時間が必要なきがある。それで子ども1人1人と心で向き合う少しの時間を確保するために、下の子を保育所（こども園）等の施設に預けて見てもらう事がある。「その時間は安心して下の子をみてもらえると同時に、今親子で向き合う必要がある上の子と心置きなく過ごせる時間が持てる」という事が出来て私自身も心の余裕が持て、また親子のきずなも作れて本当に助かっている。ありがとうございます</p>
10	<p>各ご家庭で抱える不安やお困りごとには当然差があるもの。しかしながらマイナスのバランス調整ばかりでは子どもたちの教育の発展性がないように感じている。時代はいつでも貧しいものに対し辛く苦しいのですから、そこに注目しても根本的解決は難しいでしょう。今後はもっと学習面のサポートを充実していく必要があると思う。子どもは教養を身につけなければ善悪の判断をつけることが出来ない。プラスの方向性に対し何卒ご英断下さい。</p>

(2) 問23 「就学児童」の子育て環境や支援に関する意見・要望等

主な意見・要望等の内容（抜粋）	
1	<p>ヒロコでの成果は十分に大きなものがある。反面、ヒロコ一局集中とも感じられる。市内全域で見た場合、ヒロコまで足を運ぶには距離を感じる方もいると考えられる。子どもたちの生活基盤は地域にある。地域と連携しながら、例えば小学校区で、児童館・児童センター等を活用した、文化・スポーツ・学習支援事業があるとよい。または、交通機関（公共）の利用に対して、小・中・高の学生の無償化がなければ、様々な催事に足が向かない。子どもたちと保護者にとって魅力のある事業が展開されていくことを望んでいる。</p>
2	<p>アンケート中にも書きましたが、正社員で働く女性にとって、児童クラブサービスはとても有難い。しかし、19時迄が少し残念だ。就業時間が18時・19時の業種は多いと思う。職場からクラブまで比較的近い私でも焦って行っているが、遠い方は事故覚悟でもっと焦って急いで行っている。働きながらの子育てで困るのは、預かってもらえる時間内にお迎えに行けるか。保育園も然りですが、延長が20時迄可能な所を探して、住まい地域以外の場所に預けている人も居る。私の様に19時ギリギリでクラブへ行くと、ウチの子が帰らないと先生も帰れないので、やっと来ましたね。これで最後です。40分一人だったよねーと口に出す先生も居て悲しく思う。先生も子供が居なくなると帰れるので気持ちは分かりますが……。18時以降有料ではなく、19時～20時迄は有料でも利用者は助かると思う。</p>

3	<p>子供の数が本当に減り、同じ小学校の学区内でも町会によって子供の数にバラつきがあり、町会ごとの活動が成り立たなくなっている。極端に人数が少なく今後、増える見込みがない場合は、どこかと統合するとかしてほしい。学校で年に3回～4回町会子ども会集会というのをやるのですが、(うちの町会は)子どもが2～3人しかいないので、かなりさびしい。子どもの人数は減っても教育環境は今のようによく充実させてほしいと思う。放課後子ども教室も2年利用させて頂きましたが、さまざまな体験ができて楽しかったようだ。今後やはり続けてほしい。</p>
4	<p>弘前市への転入時に子育て環境や支援についての案内や説明等は無かったと思う。引越や、転校、転園の雑務の中で自分でネット等で情報を得なければならぬし、不親切だと感じた。(保育園・幼稚園一覧も、こちらから申し出なければもらえない。)子ども医療費給付制度も、市役所側からの案内も無く、こちらから聞かなければ、制度があるのか無いのかも分からないし、そもそも他市に比べて所得制限額が低すぎて驚いた。なかよし会は利用料が無料で利用しやすいと思うが、入会希望月の前月15日までに申し込まなければならず、不便だ(青森市では、翌月から利用できました。求職中は、いつから、どんな勤務時間の仕事に決まるか不明なのに)。弘前市は子育て世帯を歓迎する気は無いのだと受けとめている。</p>
5	<p>スポ少という制度に疑問と不満がある。親が運営することで、スポーツをしたい子供の参加をさまたげていると感じる。実際、スポ少の負担感があり、何もしなくても良いから、スポ少に入れてあげれば良いと言えない状況。先生が必ずしも関わらなくても、親以外で運営する方法を考えてはいかがでしょうか。以前も申しましたが、国も県も女性が働くことを推奨していますよね。親も仕事をすればスポ少への参加は難しいことが多々ある。弘前市はスポーツは出来る子がやれば良いという考えではありませんよね。改善を期待している。</p>
6	<p>外で遊べる公園や広場が他の地域に比べて極端に少ない。子供は外で体を動かして遊びなさいと言われても安心して遊べる場がありません。市内を見ればすぐわかると思う。公園がすぐ近くに何か所もある地域もあれば全くない地域もある。土・日だけでも近くの幼稚園や小学校のブランコやすべり台を開放してもらえないだろうかと思う。公園、広場、遊び場が少なすぎ!!</p>
7	<p>不審者等、物騒な話題が多いのに、学校から離れた場所に児童センターがあるのはおかしいと思いませんか? 集団下校や先生方の見回りも一定の期間で終了です。掃除や居残りでお友達と時間が合わず、一人で下校になったりする場合も多々あると思います。他市では放課後教室として、そのまま学校に保護者が迎えに行くまでいる事ができる学校もあるのに、弘前市はほとんどないですよね? 学校・先生の負担もわかりますが…。部活させたくても、今はほとんどスポ少で保護者が必ず参加するようになっており、トラブル等多々聞いている。現在の環境は全く安心して子育てできる状態ではない。子育て家庭の支援等も弘前市は他市よりだいぶおけている。これからどんどん少子高齢化が進んでいく中、今になって対策を考えるのはそれこそ遅い!! 私を含め周りの多子家庭も子育て終盤です。今まで金銭面、仕事面でみんなもとても大変な思いをしている。もっと早く、子供達のために、子育て家庭のために、市で支援・対応してほしいと思ってきた。今の子育て環境や支援の状況で育った子供たちが、子供を産んで育てていきたいと思えるような支援制度がどれほどあるか? いろいろ遅すぎると思いませんか?</p>

8	<p>未就学児の時はインフルエンザワクチンの補助がありとても助かったが、小学生になると補助がないので、2回の摂取のうち補助があると助かる。小学校に入った途端、出費がかさむので、（細々したもの（リコーダー、彫刻刀）から、スキーウェアなど）学務援助もありますが、足りてないところもある。自分が知らないだけで、様々な支援などあるようでしたら、お知らせいただけたらと思う。子育て支援課で何かの手続きに行った際など、たまたま話した事に対して、こういう支援もありますよと教えて頂くことがあり、もっと前に知りたかったなあ・・・と思ったこともあった。</p>
9	<p>子どもの放課後をどのようにすればよいか、正直悩む。部活動は限られており、保護者の送迎が必要となると現状では参加できる子は限られる。なかよし会などの利用可能時間をもし延長できたとしても、親と子の関わる時間が益々減っていくのだと思う。各家庭の問題もあるが、共働きで祖父母も近くにいないければ、本当に大変だ。不規則な時間での仕事をする方も増えている。子育て世代の就労時間に、ある程度の社会的理解が得られると良いと思う。</p>
10	<p>通学路が交通量が多く、とても危険を感じる。スクールゾーンで歩道と車道の色が分かれてはいるものの、境目にブロックなどの固定物がない為車が歩道の方に寄って走って来るときはとても危ない。通学時間帯、例えば朝 7:30~8:00 頃までにはスクール時間として通行止めにし、他の回路を使うなど考えて欲しいと思う。冬は歩道（スクールゾーン）に雪が多くあるため、毎日車での送迎をしている家庭も多いと思います。何か改善策があればいいのですが。</p>